

愛南町営業戦略推進計画等策定懇話会

「アイ」を形にする（仮）デザインシンキングワークショップ

第4回 報告書

日 時： 令和2年11月9日（月）18時～19時

場 所： 愛南町役場（本庁）3階 大会議室

参加者： 町民12名、職員18名、スタッフ9名

内 容： ロゴマーク・キャッチフレーズの発表

※新型コロナ対策として、検温・消毒・マスク着用にて入場

次 第： 1. 開会

2. ロゴマーク・キャッチフレーズ最終案の発表

・ロゴマーク発表（山内） ・キャッチフレーズ発表（大野）

3. ワークショップ最終回「参加者感想発表」

4. 閉会

●はじめに

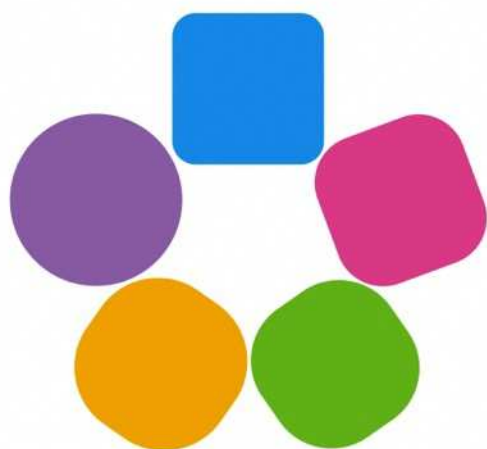
事務局より本日の次第・テーマを説明。以下ファシリテーターが進行。

●ロゴマーク・キャッチフレーズ最終案の発表

ファシリテーターより、前回ワークショップで決定したロゴマーク・キャッチフレーズの最終案を発表。前回のワークショップで要望のあったキャッチフレーズにビジュアルを組み合わせた使用例（「、」を魚やなーしくんにしたもの）も提案する。なお、ロゴマークはデザイン展開案を2案提示するが、「用途やシーンに応じて選べるよう、どちらかに決め込まないほうがよい」との意見多数。デザイン展開はファシリテーターに一任するものとする。



1. ロゴマーク最終案



いろこい♥あいなん
ainan
愛媛県 愛南町

〈愛南町グランドコンセプト〉

「豊かな彩と合併の記憶」

2004年、内海村・御荘町・城辺町・一本松町・西海町の4町1村合併の歴史を記憶に残し、5個が少しずつ変化していく様子を町の形に見立てました。

同時に海も里も豊かな自然に恵まれ、多くの特産品、また景色も彩り豊かな愛南町を表現したシンボルマークです。

〈英字フォントコンセプト〉

ainanの5文字のフォントデザインも個性的なオリジナルを採用。理由は5町村合併のワードの5、そしてシンボルマークと切り離して使用することも想定し、フォントだけでも愛南町を発信可能にする目的を持たせました。

和ロゴ組み合わせ例



モノクロ使用例



背景に色がある場合の使用例



キャッチフレーズとの組み合わせ例〈1〉



キャッチフレーズとの組み合わせ例〈2〉



2. キャッチフレーズ最終案

〈愛南町キャッチフレーズ〉

「いろこい、あいなん」

海の青さも山の緑も、味わいも体験も、
出会いも思い出も、すべてが色濃く感じられる
愛媛県最南端のまち愛南町。
彩り豊かで、その一つ一つに深みがある愛南の魅力を
「いろこい、あいなん」と表しました。

〈サブコピーとの組み合わせ使用例〉

「海も果実も。いろこい、あいなん」

「体験も感動も。いろこい、あいなん」

「何が“色濃い”のか」をサブコピーで表現。
たとえば、特産品なら「海も果実も」、観光なら「体験も感動も」と使い分けるなど
「○○も○○も」とシーンに合わせてアレンジ可能です。
「も」とすることで、それ以外にもあることを余白で残します。

〈ビジュアルとの組み合わせ使用例〉

〈1〉
いろこい  あいなん

〈2〉
いろこい  あいなん

〈3〉
いろこい  あいなん

〈4〉
いろこい  あいなん

〈5〉
いろこい  あいなん

〈6〉
いろこい  あいなん

●ワークショップ最終回「参加者感想発表」



町民 13 名、職員 15 名の 28 名で実施したワークショップを終了。全 4 回を振り返り、決定したロゴマーク、キャッチフレーズについて、またワークショップに参加した感想を発表する。

(※各人の感想は別添「愛南 WS 感想」参照)

<ファシリテーターより>

感想にもあったとおり、これからが大事。マークが出来たことで安心して、自分たちが勝手にデザインし始めることが多い。これは失敗の入り口。デザイン展開をするときに気を付けたいのは、引き算をすること。余白があるとあれもこれも入れたいくなるが、ブランド力を持つためには余分なものは入れないこと。「どこをとっても愛南町」であるように、統一したイメージを発信すること。すでに自社のブランドマークを作っている団体もあると思うが、そのマークの横に「ついでに」入れてしまうと「どこをとっても愛南町」ではなくなってしまふ。統一感のある商品パッケージで愛南町をPRし、愛南町自体がブランド力を持つことで、販売促進を後押しするような関係性を作っていけるとよい。



●おわりに

1. 商工観光課長あいさつ

町民を代表して参加いただいた委員の皆さん、ありがとうございました。

大変いいデザインが出来て嬉しく思う。今後、このロゴマークを皆さんに使ってもらえるような後押しをできればと思っている。また、このデザインをこんなふうに使いたい、といったアイデアや希望があれば伝えてほしい。何度も出ているが、これがスタート点。来年からこのデザインがあちこちで見かけられるよう展開を後押ししていきたい。ご協力をお願いします。

2. 事務連絡、閉会

事務局より今後のスケジュール、マーク等使用にあたっての注意事項などを説明。閉会する。

(以上)